

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		救急医療体制整備事務				担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3342	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり				根拠法令 個別計画等	深谷市病院群輪番制病院運営事業補助金交付要綱 深谷市公的病院等運営費補助金交付要綱				
	小項目	2	地域医療体制の充実									
	主要プロジェクト	0	(未使用)									
事業概要		本事業は、深谷市の救急医療体制を充実させるため、初期救急医療体制として休日診療所・こども夜間診療所、当番医による在宅診療を開設し、第二次救急医療体制として祝休日、夜間に入院が必要な重篤の救急患者が医療を受けられる体制を確保し、また、第三次救急医療を担う救命救急センターの運営の安定化を図るため、関係市町とともに深谷赤十字病院に補助金を交付するものである。										
目的 ※何のために		市民が必要な時にいつでも救急医療を受けることができる。										
対象 ※誰・何を対象に		①初期救急医療体制では、比較的軽い救急患者、②第二次救急医療体制では、入院が必要な救急患者、③第三次救急医療拠点確保では、重篤の救急患者。										
手段 ※どのように		初期救急医療体制では、深谷寄居医師会に、第二次救急医療体制では病院群輪番制参加病院に運営費補助金を交付する。また、第三次救急医療（救命救急センター）を担う深谷赤十字病院に補助金を交付する。										
成果 ※何を求めるか		市民のための救急医療体制の確保										
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 関係医療機関等 ）										
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）	
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	在宅当番医制運営事業		2, 407, 440	
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営費補助金		65, 054, 546	
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	休日急患センター運営費補助金		8, 000, 000	
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	深谷赤十字病院運営費補助事業		28, 326, 000	
本事業の 主な業務		・ 在宅当番医委託、県報告							・			
		・ 病院群輪番制病院運営費補助金交付事務							・			
		・ 小児救急医療支援事業（県補助対象）							・			
		・ 休日急患センター運営費補助金交付事務							・			
		・ 休日急患診療所後方支援事業事務							・			
		・ 深谷赤十字病院運営費補助金交付事務							・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・小児救急医療支援、医師派遣、深谷赤十字病院補助金交付事務・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣、深谷赤十字病院補助金交付事務・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣、深谷赤十字病院補助金交付事務・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣、深谷赤十字病院補助金交付事務・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣、深谷赤十字病院補助金交付事務・休日診療所補助金交付事務	・小児救急医療支援、医師派遣、深谷赤十字病院補助金交付事務・休日診療所補助金交付事務
事業費	予算（現額）	95, 742, 000	78, 650, 000	78, 981, 000	205, 612, 000	105, 632, 000	78, 111, 000
	決算額	94, 741, 472	77, 522, 707	77, 762, 893	204, 457, 204	103, 787, 986	0
	財源内訳	国支出金	0	0	100, 000, 000	0	0
		県支出金	0	0	15, 733, 000	15, 746, 000	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	12, 683, 736	12, 706, 464	24, 037, 742	24, 024, 423	12, 797, 000
		一般財源	82, 057, 736	64, 816, 243	64, 971, 262	64, 017, 563	65, 314, 000
人件費	従事職員数（人）	0. 81	0. 76	0. 71	0. 86	0. 62	0. 60
	人件費相当試算※	6, 300, 990	5, 914, 320	5, 754, 550	6, 996, 960	4, 812, 388	4, 878, 809
総事業費試算		101, 042, 462	83, 437, 027	83, 517, 443	211, 454, 164	108, 600, 374	82, 989, 809

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	救急医療体制整備メニュー数	目標値		7	7	7	7	7	7	
		実績値		7	7	7	7	7	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		救急医療体制の整備に係る事業数 / 体制整備メニュー数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	休日急患診療所診療日数	目標値	日	69	69	69	69	69	69	
		実績値		70	72	75	70	70	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		初期救急医療体制整備のため日、祝日、年末年始の開設を目標値として設定 / 診療日数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	こども夜間診療所診療実施率	目標値	%	100	100	100	100	100	100	
		実績値		32.87	33.15	33.87	32.87	33.15	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		小児の初期救急医療体制の整備、拡充を目指し目標値を設定 / 診療日数/目標値（365日）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	初期救急（在宅当番医制運営委託・休日急患センター運営費補助金）、二次救急（病院群輪番制病院運営費補助金・小児救急医療支援及び医師派遣支援）、三次救急（深谷赤十字病院運営費補助金）において補助金を交付し、救急医療体制の維持に努めることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	初期救急医療の体制確保において開設している休日診療所については、目標値どおり達成することができた。なお、こども夜間診療所においては、121日間（土日・祝日・年末年始）のみであるため、33.15%の実施率となっている。
			評価者 地域医療係長 渡邊忠道

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	救急医療体制の整備については、実施主体となる医療関係機関が輪番制により行っており、効率的な運用がなされている。 小児救急医療については、関係市町と協定を締結し、国・県とともに補助金を交付するなど効率的な運用を行っている。
			評価者 地域医療係長 渡邊忠道

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	小児救急医療体制の確保に向けては、引き続き医師会や医療機関と調整に努める。 また、引き続き市民に対し医療機関の適正受診等を呼びかけていく。
達成状況及び その効果	小児救急医療について、深谷市が令和2年度から2年間の代表幹事市であることから、熊谷保健 所と連携を図りながら体制の確保に努めることができた。 また、市民に対し医療機関への適正利用やかかりつけ医に関する周知、救急電話相談・救急受診 アプリの周知等、広報誌やホームページを通じて情報発信を実施した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救急医療体制整備事務	担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3342
<div><div><div><input type="checkbox"/> ① 拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ② 現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③ 見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		初期救急医療（休日診療所・こども夜間診療所、当番医による在宅診療）、二次救急医療（夜間に入院が必要な重篤な救急患者への医療）体制を確保することができた。 また、小児救急医療支援及び医師派遣支援について、代表幹事市として県と連携を図りながら体制の維持に努めることができた。なお、小児の初期救急医療の拡充については、実施が困難な状況であるが、引き続き関係機関と調整を図っていきたい。					
		評価者	保健センター所長 穂山光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	救急医療体制の運営・維持・整備を図るためには、多額の費用負担を伴うため、今後も市の財源確保、近隣市町との調整が大きな課題である。 また、小児救急医療支援事業において、医師不足等により体制の確保がとれないことのないよう、県と連携し、適宜情報を把握しておく必要がある。

8. 評価指標グラフ

